

方小だより
令和8年度
校長室

笑顔いっぱい



個人懇談 お世話になりました

せみの抜け殻が校庭で見受けられ、朝からせみの鳴き声が聞こえ出しています。特別支援学級のみんが大事に育てている夏野菜が実を付け、1年生の朝顔も花が咲いています。「あと何日寝たら、夏休み？」と登校してきた2年生が、正門のところでうれしそうに質問してくれました。子供たちが楽しみにしている夏休みまで、今週を残すのみ、あとわずかです。

さて、7月8日（水）から4日間の個人懇談では、大変お世話になりました。1学期中のお子様の様子について担任と情報交換していただき、ありがとうございました。学習や友達との関係など、ご家庭でお子様から聞いたことをご相談いただいた方もいらっしゃいました。子供たちの不安を解消し、安心して学校生活を送ることができるよう努めてまいります。この1学期、どの学年も落ち着いて学習に取り組み、成長した方上っ子です。ご家庭でもしっかりと褒めてあげてください。



高校生のゲストティーチャー登場

7月8日（水）に、城東高等学校の3名の学生さんが、4年生の総合的な学習のゲストティーチャーとして来てくださいました。まず、リユースされているペットボトルの分別の仕方について、クイズ形式で教えてもらいました。ペットボトルは、ラベルは燃やせないごみ、キャップはキャップ専用ごみ、ペットボトルはペットボトルのみの3つに分類しなければなりません。ペットボトルのキャップについては、学校でも回収していて、環境・ボランティア委員会が、毎月、回収した数を数えています。ペットボトルのキャップ以外にも、プラスチックトレイ、アルミ缶も学校で回収しています。ぜひ、回収にご協力いただきますようお願いいたします。

授業の中で、ポイ捨てされたプラスチックごみは、髪の毛の太さぐらいの小さいごみとなって海に流れ、それを魚たちが食べることで、その魚を人間が食べ、体に影響を及ぼすという話もしてくれました。その後、4つのグループに分かれて、ペットボトルの人生ゲームのすごろくをしました。4年生の子供たちは、1学期、総合的な学習の時間に学んできた環境学習と重ね合わせながら、すごろくで止まったマスの内容を確認していききました。

高校生のみなさんは、部活動で環境について考え、説明の資料やすごろくをつくったそうです。全国高校生プレゼン甲子園にエントリーし、四国で2校の代表校に選ばれ、8月に開催される全国大会に進むそうです。『リサイクルが「当たり前」の社会へ!』というタイトルで、発表するとうかがいました。方上小学校で出前授業をしてくれて、4年生もいい学習ができました。総合的な学習を進めていく上でも参考になり、貴重な学びとなりました。高校生のみなさん、ありがとうございました。



なかよし班活動

1学期最後のなかよし班活動がありました。同じグループのメンバーの顔と名前が一致し、毎回楽しそうに遊ぶ姿が見られます。各グループが、運動場、体育館、教室に分かれて活動をしています。この日、教室では、カードゲームをしていました。体育館では、パックサッカーをしていました。ドッジボールをする時もありますが、大きい学年のみなさんは、利き手でない方の手でボールを投げるなど、みんなが楽しめるルール工夫をしています。運動場では、鬼ごっこが多いです。増え鬼やおこり鬼、助け鬼など、先生も一緒になって運動場を駆け回っています。



プールで水てっぽう

1年生がペットボトルで水てっぽうを作っていました。カラーマジックで、色を塗ったり、絵を描いたりしたペットボトルの水てっぽうです。プールに発泡スチロールの板を浮かべて、相手の方に水をかけて動かしたり、プールサイドにくくりつけた絵をめぐって水を当てたりして、水遊びを楽しみました。笑顔いっぱいの水遊びでした。

